

上井地区敬老会挨拶

平成 26 年 6 月 8 日(日)

皆様本日は誠におめでとうございます。

今年度新しく敬老会に入会されました方がお生まれになった年がどんな年だったのか、調べてみました。すると、特徴的な言葉として「代用品・木炭車・ヤミ」等が載っていました。ここにお集まりの皆さまは、昭和の激動の時代を乗り越えられ、自らの手で人生を切り開き、今の日本をこのように立派な姿に発展させていただきました。人生の後輩として心よりお礼申し上げます。

さて、敬老の日は「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と、農閑期に当り気候も良い9月15日に敬老会を開いていたことが由来で、兵庫県の野間谷村から兵庫県で広まり、全国へ普及していったそうです。はじめは、「としよりの日」という名前でしたが、「敬老の日」と言葉がかわり今に至っています。

お年寄りの方は、今まで頑張って働き、日本を支えてきたので、感謝の意を込めて、敬いましょうという日は、日本にしかないようです。

現在は大地震も発生するなど激動の時代に突入しております。また、この上井地区でも、先だつての市議会で「中心市街地活性化」をすすめ、よりよいまちづくりを進めることが決まりました。ぜひ皆さんの経験と知恵をこれまで以上にお貸しいただきこの激動の時代を乗り越えたいと思っております。

人生の先輩でいらっしゃる皆様方、今後ますますお元気で、我々後輩にすばらしいお手本をお与え下さい。

最後になりますが、また、来年も元気でお会いできます事をお祈りし、敬老会のお世話をされておられる関係者の皆様に感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。